

平成24年度第3回医学部看護研究倫理委員会議事要旨

日 時 平成24年6月11日（月曜日） 16時20分～18時15分
場 所 看護学科棟1階 学科長室
出席者 内田 宏美 委員長、足立 経一 委員、原 祥子 委員、
日原 千恵 委員、太田 明 委員、飯塚 雄一 委員 及び
加藤 博康 委員 (7名出席)
欠席者 八塔 累子 委員 (1名欠席)

委員以外の出席者 研究申請者（看護学科臨床看護学講座助教 比良 静代
及び 大学院生 原 祥子） (2名)

本委員会は、本学医学部看護研究倫理委員会規則第5条第1項の定めるところにより成立したものである。（定足数6名以上の委員の出席 かつ 5号委員又は6号委員の出席 の要件具備。）

議 事

1. 看護研究申請書の倫理審査について

1) 課題名：助産師によるいのちの教育（性教育）における小学低学年児童の学び・・・・資料1

資料1のとおり看護学科臨床看護学講座 助教 比良 静代 氏より申請があった上記看護研究の倫理審査申請について、同人から研究の概要等についての説明の後、委員から同人に対しての質疑応答が行われた。

審議の結果、委員が指摘した『当該アンケートを分析して研究することは、小学校の授業に係る「児童」の『宿題』の副次的利用なのだから、これへの保護者の同意の可否を確認する項を立てるべき。』等の修正事項について、委員長が訂正等を確認後、承認することとした。

2) 課題名：一般病棟における看護師の終末期がん患者ケア態度に関連する要因の検討・・・・資料2

資料2のとおり大学院医学系研究科看護学専攻 学生 原 祥子 氏 より申請があった上記看護研究の倫理審査申請について、同人から研究の概要等についての説明の後、委員から同人に対しての質疑応答が行われた。

審議の結果、質問紙の尺度の見直し等の修正事項について、委員長が訂正等を確認後、承認することとした。

2. 報告事項

平成24年5月14日開催の医学部看護研究倫理委員会の審議案件の承認手続きについて内田宏美委員長より、報告があった。

- 1) 申請者：看護学科臨床看護学講座 講師 森山 美香
課題名：臨地実習場面における効果的な看護倫理教育の検討
結 果：平成24年5月14日付承認
- 2) 申請者：看護学科基礎看護学講座 教授 内田 宏美
課題名：屋根瓦方式アクションリサーチによる新任医療安全管理者の実践力強化プログラムの開発
結 果：平成24年5月14日付承認
- 3) 申請者：大学院医学系研究科看護学専攻 学生 妹尾 史子
課題名：がん終末期の親をもつ子どもへの看護に関する検討
結 果：平成24年5月25日付承認
- 4) 申請者：大学院医学系研究科看護学専攻 学生 板倉 瑞穂
課題名：配偶者を亡くした高齢者の看取りの思いと医療者からの情報提供との関連
結 果：平成24年6月1日付承認
- 5) 申請者：大学院医学系研究科看護学専攻 学生 藤城 厚子
課題名：NICU入院児の母親の養育意欲向上に寄与する関連要因
結 果：平成24年6月8日付承認
- 6) 申請者：医学部附属病院看護部 看護師 井上 朋美
課題名：初めて化学療法を受ける高齢がん患者の看護に対するニーズ
結 果：平成24年6月8日付承認

次に、前回の議事要旨を確認し、了承された。

- 次回の看護研究倫理委員会は、平成24年7月9日16時15分から開催することとした。

以上